

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	心きらきら児童デイサービス事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 8日		～ 2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65名	(回答者数) 60名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 2日		～ 2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、音楽療法士、公認心理師、言語聴覚士、教諭等の専門的な資格を有する職員を配置し、個別療育・集団療育・音楽療法・言語指導、家族相談等を行っています。	・一人ひとりの発達に応じた療育を1対1の個別やグループで行っています。	・今後とも、専門職員の確保を行っていきます。 ・職員の研修体制を継続的に行い、職員の資質向上を図るとともにサービスの質を高めていきます。
2	・子どもの育ちを支える支援や環境を整える支援を行っています。	・保護者様と子どもの発達や特性の理解について、療育の場面を通して話し合いの場をもち、相談支援に努めています。また、必要に応じて、子どもが在籍する園などとの連携に努め、適切な支援につながるよう見学や相談支援を行っていきます。	・きょうだい同士の交流の機会を設けていけるように努めていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会等の開催について、年2回開催し家族への支援を行っているが周知されていない。	・開催を保護者全体に周知されていたか ・日程や内容の見直し	・周知できるように広報を考える。 ポスター掲示や声かけだけでなく、案内の配布を行うなど
2	・非常時等の対応について、周知されていない。	・マニュアルを待合に設置しているが案内不足 ・避難訓練を全体で訓練を行うことができにくい。事業所としては年2回訓練を行い、ポスターを掲示してあるが情報が伝わっていない	・利用開始時に案内を行なう ・職員への訓練を行うことで、日頃からの準備や対策を行っていきます。
3			